

ジェマディプト港湾海運(GMD)



《企業紹介》

同社はベトナムで最初に株式会社化された国営企業の一社である。港湾運営事業を中核とする総合物流企業で、同事業が全社売上高の87%を占めている(2024年12月期実績)。ハイフォンやホーチミンの主要国際港をはじめ、ベトナムの重化学工業集積地の玄関となっている中部クアンガイ省ズンクアット、2021年に開港したバリアブントウ省のジェマリンク国際港といったベトナムを代表する主要港湾を中心に事業を展開し、取扱シェアはトップクラスとなっている。

同社は、ハイフォンの工業団地の船積み拠点として開発されているナムディンブー港での積極的な投資を行っている。世界最大級のコンテナ船が寄港できるラックフェン国際港との連携によって更なる港湾運営事業の拡大を目指している。

《2025年1-3月期業績》

2025年1-3月期の売上高は前年同期比27.0%増の1.2兆VND(ベトナムドン)だった。ナムディンブー第2港の稼働によって港湾運営事業の売上高が同35.0%増の1.1兆VNDと大きく伸びたことが牽引役となっている。能力増強が着実に売上高の増加をリードしているようだ。一方、物流その他事業は、縮小傾向が続き、同14.8%減の1,386億VNDだった。

粗利益は同27.4%増の5,616億VNDだった。全体の粗利益率は同0.1%ポイント上昇の44.0%だったが、港湾運営事業の粗利益率は同0.9%ポイント上昇の44.1%へ上昇している。増収によって、ナムディンブー第2港の稼働に伴う固定費の増加を十分にカバーできているようだ。

税引前利益は同17.6%減の5,831億VNDとなった。粗利益や持分法投資損益が増加したものの、金融費用の受取超過額が前年同期の3,148億VNDから6億VNDへ大きく減少したこと、販売費を中心に販売費および一般管理費が同41.6%増の2,117億VNDと大きく増加したことが足を引っ張った。税引後利益は、法人税と少数株主持分控除額の増加によって、同28.0%減の4,030億VNDとなった。税引前利益や税引後利益は減益だったが、米国の関税政策が不透明な状況下にあっても、港湾事業を軸とした売上高や粗利益の増加が続いている。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2024年1-3月期		2024年4-6月期		2024年7-9月期		2024年10-12月期		2025年1-3月期	
		前年同期比(%)		前年同期比(%)		前年同期比(%)		前年同期比(%)		前年同期比(%)
売上高	1,005.5	11.5	1,181.1	29.5	1,264.1	26.7	1,411.8	36.6	1,276.9	27.0
粗利益	440.9	3.4	542.1	25.9	581.3	25.1	629.9	48.0	561.6	27.4
粗利益率(%、%ポイント)	43.8	-3.4	45.9	-1.3	46.0	-0.6	44.6	3.4	44.0	0.1
金融費用(マイナスは収入)	-314.8	-	17.7	-	45.0	147.5	-13.5	-	-0.6	-
販売費および一般管理費	149.5	18.2	201.3	30.2	182.1	78.7	270.6	-2.0	211.7	41.6
税引前利益	708.0	129.6	511.3	-76.5	500.7	25.9	351.1	38.6	583.1	-17.6
税引後利益	559.4	176.7	303.2	-81.6	335.0	31.8	234.6	104.3	403.0	-28.0

出所 各種資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20250428

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ジェマディプト港湾海運(GMD)

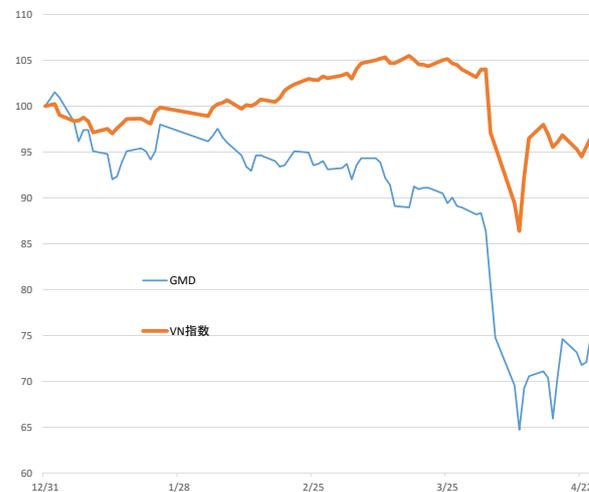


《株価の推移》

図表2は同社の株価とVN指数について、2024年末の終値を100として指数化したものだ。同社の株価は年初から下落を続けており、VN指数を大きくアンダーパフォームしている状況だ。米国の関税政策が具体化するにつれ、世界経済の成長持続に対する不安が高まり、同社の株価パフォーマンスの悪化も一段と顕著になっている。4月25日終値ベースの2024年末比下落率はVN指数が3%となっているのに対し、同社の株価は22%となっている。また、4月25日終値51,000VNDで計算した時価総額は21.4兆VNDで、2024年12月期実績の税引後利益1.4兆VNDの約15倍の水準となっている。

ナムディンブー第2港はベトナム北部の主要港であるハイフォンにあり、最大級のコンテナ船が停泊可能な水深をもつラックフェン国際港との連携が容易であることから、競争力が高く、更なる取扱高の増加が見込める。また、既にナムディンブー第3港への投資も開始しており、それは2025年末までに稼働する予定となっている。しかし、米国の関税政策によって、これらの能力拡大が業績成長を牽引するというシナリオに影を落としていることが、株価パフォーマンスに影響をもたらしているようだ。関税の引き上げに伴う世界経済の減速懸念もあるため、当面は業績を確認しながら、パフォーマンス反転の時期をうかがうことになるだろう。

図表2 株価の推移



出所 株価データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20250428

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。